

平成29年度第1回安城市地域ケア推進会議及び安城市医療・介護・福祉ネットワーク協議会

日時 平成29年4月20日(木)
午後1時30分～午後3時
場所 社会福祉会館 3階 会議室

- 1 高齢福祉課長あいさつ
- 2 出席者紹介
- 3 会長・副会長選出
- 4 会長あいさつ
- 5 議題
 - (1) 平成28年度地域包括ケア協議会の報告(資料1)
 - (2) 地域包括支援センター及び施設整備について(資料2)
 - (3) あんじょうコミュニティBOOKについて
 - (4) 各部会主催の研修運営について(資料3)
 - (5) サルビー見守りネットの運営について(資料4)

連絡事項

①H29年度版認知症ガイドブックについて(資料5)

②地域ケア推進会議に関する連絡について

高齢福祉課地域支援係 電話71-2264 FAX74-6789

メールアドレス koufuku@city.anjo.lg.jp

事務局からのメールの件名:【安城市地域包括ケア】〇〇〇〇

次回 平成29年5月18日(木) 午後1時30分～2時30分 社会福祉会館 会議室

平成29年度 地域ケア推進会議名簿

| 部会名 | 所属 | 職種等 | 氏名 | |
|-----------------------|--------------------------------|-------------------|--------|---|
| 病院 部会 | 安城更生病院 | 医師 | 杉浦 真 | |
| | 八千代病院 地域連携室 | 室長 | 深谷 裕都 | |
| 医師会 部会 | アイエムクリニック・安城 | 医師 | 岡本 雅彦 | |
| | 安城新田クリニック | 医師 | 小野 真奈美 | |
| 歯科医師会 部会 | よこやま大場歯科医院 | 歯科医師 | 大場 洋 | |
| | さくらデンタルクリニック | 歯科医師 | 岸本 良 | |
| 薬剤師会 部会 | 野村薬局 | 薬剤師 | 野村 直人 | |
| | あおい薬局 | 薬剤師 | 服部 宏明 | |
| 訪問看護ネットワーク 部会 | 訪問看護ステーションおおた | 管理者 | 太田 絹子 | |
| | 池浦訪問看護ステーション | 管理者 | 芝田 真理子 | |
| 訪問リハネット 部会 | 訪問看護ステーションおおた | 作業療法士 | 太田 崇 | |
| | 安城新田クリニック 訪問リハビリテーション | 理学療法士 | 川崎 亮 | |
| ケアマネット 部会 | 居宅介護支援事業所さとまち | 介護支援専門員 | 宮川 陽介 | 欠 |
| | ケアサポート八千代 | 介護支援専門員 | 木村 恵美 | |
| 小規模多機能部会 | ニチイケアセンター東明町 | 管理者・介護支援専門員 | 稲垣 千登世 | |
| デイネット 部会 | デイサービスみどり | 管理者 | 岡田 高志 | |
| | 八千代リハビリデイサービス彩 | 管理者 | 清水 隆幸 | |
| ヘルパーネット 部会 | けいか訪問介護サービス | 管理者 | 高橋 成行 | |
| | 24H看護・介護ステーション オレンジ | 計画作成責任者 | 尾崎 雅也 | 欠 |
| 施設 部会 | 特別養護老人ホーム アルクオーレ安城横山 | 施設長 | 岩下 豊 | |
| | 介護老人保健施設さとまち | 副施設長 | 福部 敦史 | |
| グループホーム 部会 | グループホーム田苑春風 | 管理者代理 | 稲垣 伸康 | |
| | ニチイケアセンター三河安城 | 管理者 | 杉浦 昌子 | |
| 住まい部会 | (公社)愛知県宅地建物取扱業協会碧海支部安城ブロック支部幹事 | (有)不動産総合サービス代表取締役 | 増田 昌二 | |
| | 安城市役所建築課市営住宅係 | 課長補佐 | 中村 英人 | |
| 地域支援 部会 | 安城市町内会長連絡協議会 | 副会長 | 加藤 研一 | 欠 |
| | 桜井地区民生委員児童委員協議会 | 会長 | 大屋 敏 | |
| 保健福祉 部会 | 地域包括支援センター更生 | 所長 | 久野 恵三 | |
| | 安祥地区社会福祉協議会 | 社会福祉士 | 田中 由佳 | |
| 在宅医療サポートセンター コーディネーター | | 保健師 | 永井 知直実 | |
| 在宅医療サポートセンター コンダクター | | 看護師 | 木村 良子 | |
| 高齡福祉課 | | 課長 | 原田 淳一郎 | |
| | | 主幹 | 名倉 建志 | |
| | | 課長補佐兼地域支援係長 | 鈴木 貴博 | |
| | | 地域支援係専門主査 | 天野 洋子 | |
| | | 保健師 | 長谷川 知代 | |
| | | 地域包括ケア推進員 | 神谷 智子 | 欠 |
| | | 地域包括ケア推進員 | 布谷 郁子 | 欠 |
| | | 地域包括ケア推進員 | 寺田 由喜子 | |
| | 地域包括ケア推進員 | 加藤 絵美子 | | |

1 各地域での取り組み

(1) 地域見守り活動について

町内福祉委員会 79町内会設置

見守り活動 72福祉委員会で実施 *モデル地区実施分

(2) 地域ケア個別会議

個別ケースの支援内容について、ケアマネ、介護関係者、医療関係者、地域の関係者等多職種で検討する会議。地域包括支援センターが開催する。

| 地区 | 開催回数 (H29.2 末) |
|-----|----------------|
| 東山 | 19回 |
| 安城北 | 27回 |
| 篠目 | 15回 |
| 安城南 | 8回 |
| 安祥 | 18回 |
| 安城西 | 8回 |
| 明祥 | 1回 |
| 桜井 | 24回 |
| 合計 | 120回 |

医師参加回数 8回 (H27:4回)

リハビリ専門職 6回 (H27:3回)

(3) 地域ケア地区会議 (安祥・明祥除く)

地域ケア個別会議の積み重ねなどから地域の課題を挙げ、住民でできること、専門職でできること等対応策を検討し地域づくりや政策形成に結びつける。地域包括支援センターが開催。

| 地区 | 開催日 | 主な内容 |
|---------------------|------|-----------------------------------|
| 東山 ○他地区と 合同開催 | 11月○ | 3地区合同で開催。ケアマネジャーの情報共有を行い、地域課題を出す。 |
| | 12月 | 地域包括ケアの理解と参加者の顔合わせ。 |
| | 2月 | 事例検討を通じ、それぞれの立場での支援を検討。 |

| | | |
|---------------|-----------|--|
| 安城北 | 8月 | 地域ケア関係者のお互いの活動内容を知り、それぞれの立場から地区課題を考える。 |
| ○他地区と 合同開催 | 11月○ | 3地区合同で開催。ケアマネジャーの情報共有を行い、地域課題を出す。 |
| | 1月 | 事例を通じて地域でできる支援、公的支援を検討。 |
| 篠目 | 10月 | 事例を通じて篠目地区を考える |
| ○他地区と 合同開催 | 11月○ | 3地区合同で開催。ケアマネジャーの情報共有を行い、地域課題を出す。 |
| | 2月 | 事例を通じて地域住民、専門職ができることを検討 |
| 安城南 | 8月 12月 | 事例を通じて地域住民と専門職ができること |
| 安城西 | 4月※ | 認知症支援制度を知る |
| ※一部の町で 開催 | 6月※ | 見つかるつながるネットワークと安否確認 |
| | 7月 | 認知症に関する制度の周知と関係者の活動内容を理解する。 |
| | 8月※ | 福祉活動、個別支援活動について |
| | 10月※ | 個人情報の共有について |
| | 12月※ | 認知症カフェ、サロン、災害時要援護者の見直しについて |
| | 2月 | 地域で集える場所づくりについて |
| 桜井 | 6月※ | 民生委員と専門職の連携 |
| ※専門職中心 | 8月※ | 住まいについて考える |
| | 9月 | 要支援の人の困りごとや不安、支援方法 |
| | 10月※ | 福祉委員会の活動を知る |
| | 12月※ | 地域ケア個別会議について |
| | 12月 | 町内でできないことへの解決策 |
| | 2月※ | 訪問歯科診療について、住民と専門職との連携 |

(4) 成果

すべての地区で、医師、歯科医師、薬剤師、介護関係者、地域住民が参加し、医療、介護を含めた話し合いができています。

多様な問題点が表面化されている。

(5) 課題

多様な問題点が表面化されている分、地域の課題を明確にすることが難しくなっていて、対応策を検討するに至っていない地区が多い。地域ケア地区会議の運営に工夫が必要。

2 地域ケア推進会議

(1) 開催回数 12回（毎月開催）

(2) 参加者 14の部会から代表者2名

(3) 参加部会

病院、医師会、歯科医師会、薬剤師会、訪問看護ステーションネットワーク、訪問リハネット、ケアマネット、デイネット、ヘルパーネット、施設、グループホーム、保健福祉、地域支援（民生委員・町内会長）、住まい

(4) 主な検討・協議内容

- ・ICTを活用した情報共有システム「サルビー見守りネット」の導入と運用
- ・見つかるつながるネットワークの運用と周知
- ・訪問歯科診療申込書について
- ・在宅医療、看取りについて
- ・施設の看取りについて
- ・高齢者見守り協定について
- ・認知症施策について（認知症カフェ、ケアパス、搜索模擬訓練等）
- ・総合事業について

(5) 各部会主催による研修会の開催

| 内 容 | 主催した部会 |
|--|--------|
| 在宅における中心静脈栄養について | 病院 |
| エンド・オブ・ライフケア | 医師会 |
| 地域包括ケアにおける病院の役割 ～安城更生病院と八千代病院の現実を知ろう～ | 病院・医師会 |
| 摂食嚥下と口腔ケア | 歯科医師会 |
| 薬剤師の認知症初期対応能力向上（基礎編、応用編、制度編） | 薬剤師会 |

| | |
|---|---------|
| 医療にかかわる社会保障・福祉制度について | 訪問看護 |
| 要介護度の高い人への多職種連携を考える | 訪問リハネット |
| 軽度要介護認定者が自分らしい生活を取り戻すための支援 | ケアマネット |
| 地域との事業所（施設）とのよい関係づくりの方法 | デイネット |
| コミュニケーション能力・技術 | ヘルパーネット |
| 高齢者施設従事者による虐待防止に向けて | 施設 |
| グループホームが求められている本来の目的、認知症支援の講話 と他介護施設との連携 グループホーム | グループホーム |
| 徘徊ネットワークの仕組みについて学ぶ | |
| 精神疾患を抱える人との関り方 | 保健福祉 |

(6) 部会ごとにテーマについて検討

| 部会名 | 検討テーマ |
|---------|--|
| 病院 | 緊急時の受入 |
| 医師会 | 在宅診療実施医を増やすには |
| 歯科医師会 | 迅速な連携について |
| 薬剤師会 | 薬剤師の認知症対応能力の向上 |
| 訪問リハネット | 他部会との連携の強化 |
| 訪問看護 | 訪問介護・訪問リハビリ・訪問看護の連携について 歯科医師との連絡票の作成 |
| ケアマネット | ①見つかるつながるネットワークの利用の周知 ②介護保険制度運営上の問題点 ③主治医⇄ケアマネ連絡票の作成について ④歯科医師⇄ケアマネ連絡票の作成 |
| デイネット | ①「地域とのつながり方」の検討 ②総合事業への参入について |
| ヘルパーネット | ①訪問介護・訪問リハビリ・訪問看護の連携について ②総合事業への参入について |

| 施設 | 災害時の対策 |
|---------|--|
| グループホーム | ①地域の認知症をサポートする支援の取組について ②各グループホームで困っていることについて |
| 保健福祉 | 地域で取り組む移動支援 |

(7) 成果

- ア 顔を合わせる機会が増え、顔の見える関係づくりが出来ている。また、業務以外で交流する機会が増えている。（例：デンパーク駅伝、研修会打ち上げ等）
- イ 研修会を各部会で企画することで、多岐にわたる研修を開催できる。

3 生活支援体制整備

(1) 生活支援ネットワーク会議の開催

各中学校区で1～2回開催

(2) マッチング交流会&サロン博覧会の開催（1回）

(3) あんじょうコミュニティBOOKの作成

(4) 地域見守り協力店

8中学校区で展開できるよう準備中

4 認知症・高齢者見守り事業

(1) 高齢者見守り事業者ネットワーク事業

17の民間事業者団体と協定

(2) 見つかるつながるネットワーク

登録者：48名（在宅：39名、施設：8名、廃止：2名）*H29.3.10現在
行方不明件数（市に連絡があった件数）7件（うち4件は事前登録者）

(3) 徘徊高齢者捜索声かけ模擬訓練の実施

8中学校区で開催

(4) 認知症カフェ立ち上げ支援

(5) 広報あんじょうに特集記事を掲載

8月15日号に掲載

(6) 認知症サポーター養成講座（H29.2末）

開催回数：26回 受講者数：856人

(7) 認知症初期集中支援チーム（H29.2末）

相談件数：425件 チーム員会議：9回

平成29年度 地域包括ケアの事業計画について

1 地域での取り組み

- (1) 地域見守り活動の推進
- (2) 介護予防・生活支援に関する住民活動の強化と創設
- (3) 地域ケア個別会議の充実（医療職の参加の推進）
- (4) 地域ケア地区会議の充実
(地域課題の検討から地域の活動や事業化や専門職の支援等につなげる)

2 地域ケア推進会議の開催と各部会の活動

- (1) 開催回数 12回開催（毎月1回開催）
- (2) 参加者 14の部会から代表2名
- (3) 各地区の地域ケア地区会議から提案された課題について検討
- (4) 各部会主催による研修会の開催
- (5) 各部会でテーマについて検討

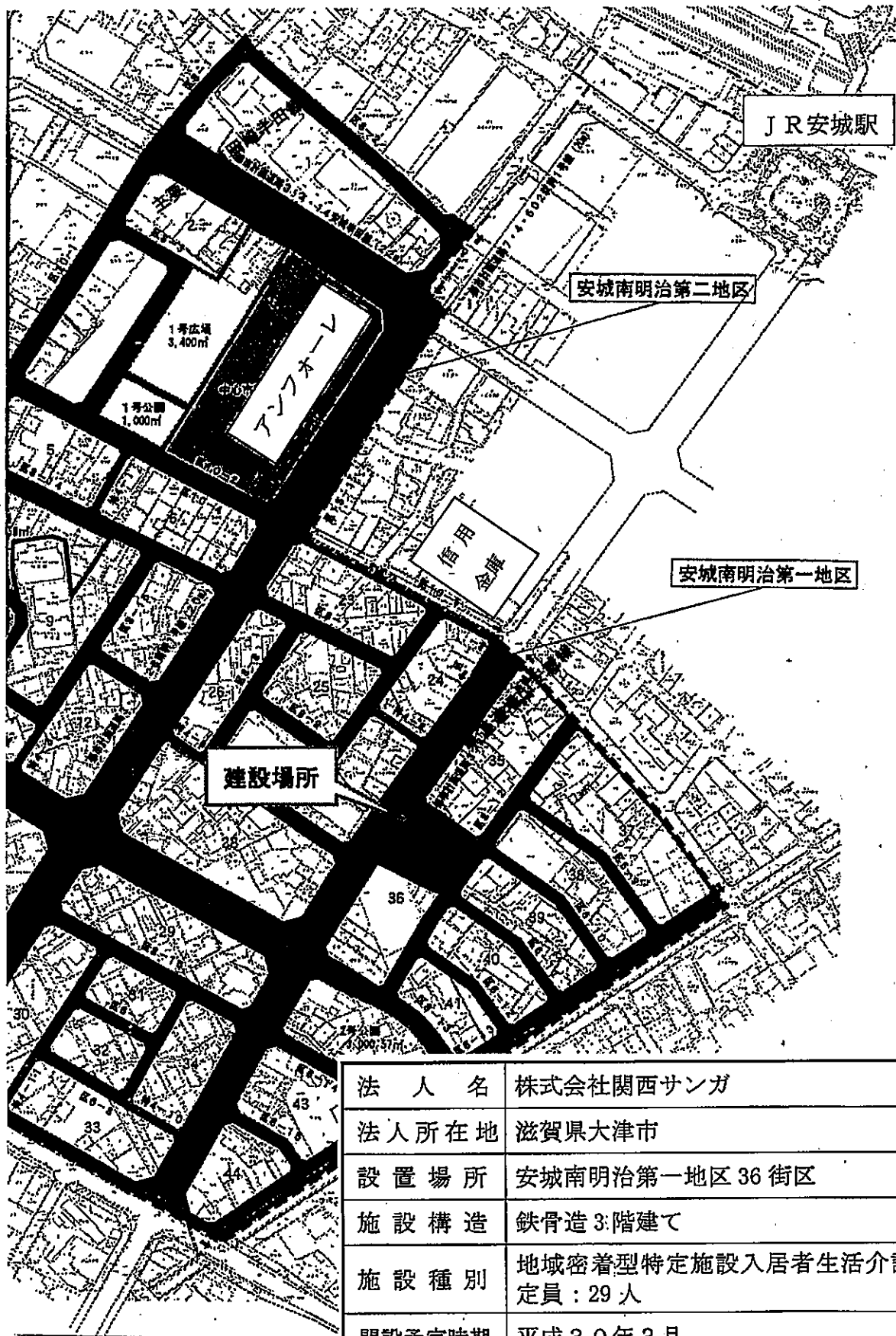
3 主な取り組み

- (1) 安城市医療・介護・福祉ネットワーク「サルビー見守りネット」の
活用の推進と近隣市との連携
- (2) 在宅医療に関する普及啓発
 - ①介護・福祉職への啓発
 - ②市民への啓発
- (3) 認知症施策の強化
 - ①認知症初期集中支援チームの活用と連携
 - ②認知症カフェの充実
平成29年度に新規開催予定
 - ③認知症高齢者搜索・声かけ模擬訓練の実施
各中学校区にて開催予定
 - ④見つかるつながるネットワークの推進
 - ⑤認知症サポーターステップアップ講座の開催
- (4) 地域における介護予防事業の充実
町内会健康体操教室をはじめとする地域の介護予防に資する活動への支援
- (5) こども、障害者を含めた地域包括ケアシステムの構築に向けた検討

議題（２）地域包括支援センター及び施設整備について

資料 2

| 地域包括支援センター | |
|-------------|----------------------|
| 平成29年4月1日現在 | |
| 担当 中学校区 | 支援センター名 |
| 東山 | 安城市地域包括支援センター さとまち |
| | 里町畑下62番地(96-3512) |
| 安城北 | 安城市地域包括支援センター 中部 |
| | 新田町新栄84番地1(71-0077) |
| 篠目 | 安城市地域包括支援センター 八千代 |
| | 住吉町2丁目2番地7号(97-8069) |
| 安城南 | 安城市地域包括支援センター 更生 |
| | 安城町東広畔28番地(77-9948) |
| 安祥 | 安城市地域包括支援センター 松井 |
| | 法連町8番1号(55-5355) |
| 安城西 | 安城市地域包括支援センター あんのん館 |
| | 福釜町矢場88番地(71-3173) |
| 明祥 | 安城市地域包括支援センターひがしばた |
| | 東端町鴻ノ巣72番地2(73-8210) |
| 桜井 | 安城市地域包括支援センター小川の里 |
| | 小川町三ツ塚1番地1(73-3535) |

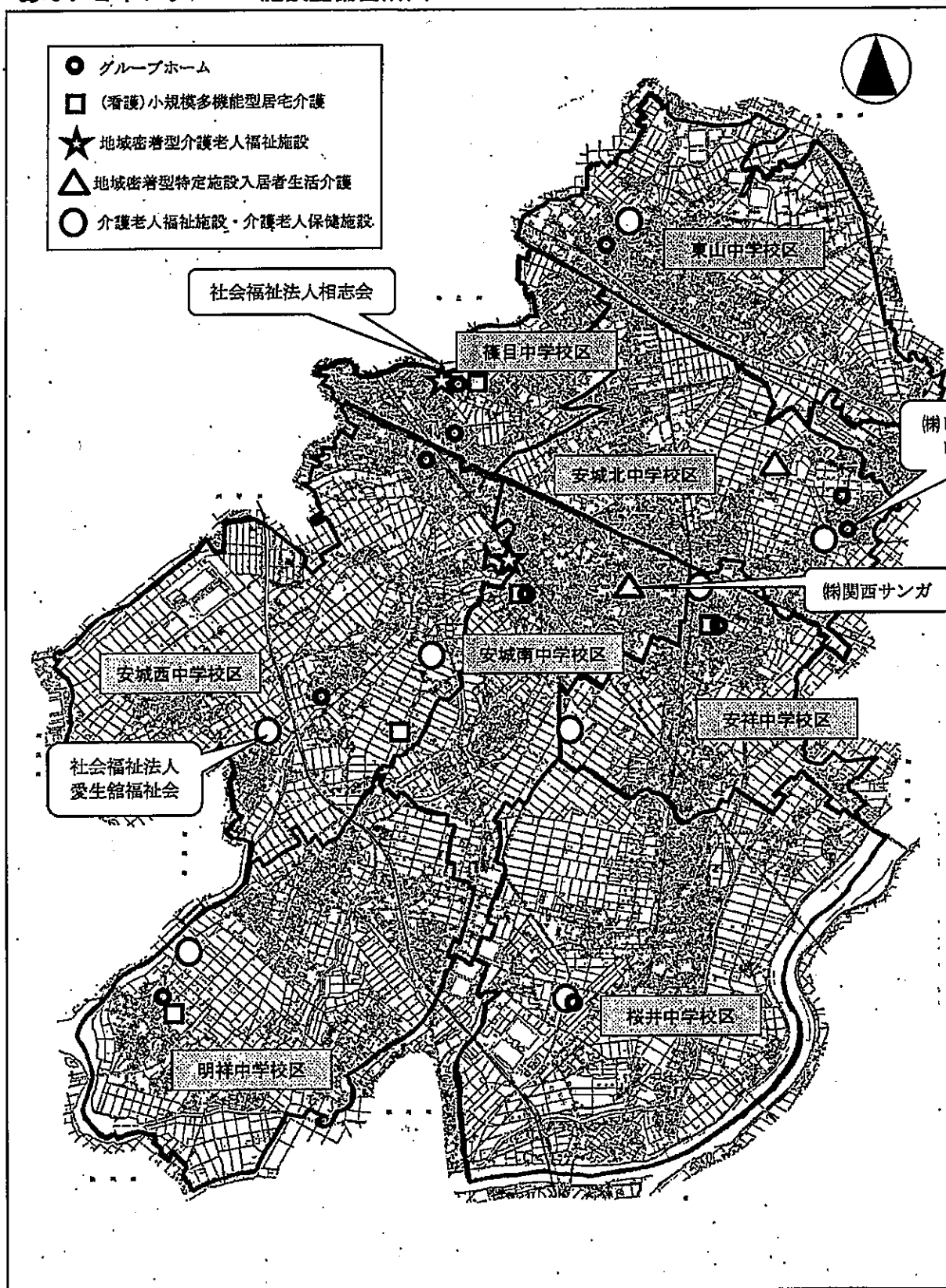


| | |
|--------|-----------------------------|
| 法人名 | 株式会社関西サンガ |
| 法人所在地 | 滋賀県大津市 |
| 設置場所 | 安城南明治第一地区 36 街区 |
| 施設構造 | 鉄骨造 3 階建て |
| 施設種別 | 地域密着型特定施設入居者生活介護 定員：29 人 |
| 開設予定時期 | 平成 30 年 3 月 |

あんジョイプラン7（平成27年度～29年度）における施設整備

| サービス種別 | 地域密着型サービス | | | | 介護老人福祉施設 （特別養護 老人ホーム） |
|---------------|-----------------------------------|-----------------------------------|---|--|-------------------------------------|
| | 認知症対応型 共同生活介護 （グループ ホーム） | 認知症対応型 共同生活介護 （グループ ホーム） | 地域密着型 介護老人福祉施設 （小規模特別養護 老人ホーム） | 地域密着型特定施 設入居者生活介護 （介護付有料老人 ホーム） | |
| 定員 | 18人 | 18人 | 29人 | 29人 | 100人 |
| 事業所名（仮称） | ケアビジョン ホーム安城 | グループホーム こころくぼり | 特別養護老人ホー ムこころくぼり | すえひろ翔裕館 | 特別養護老人ホー ムひまわり福釜 |
| 法人 | 法人名 | ㈱ビジュアル ビジョン | 社会福祉法人 相志会 | ㈱関西サンガ | 社会福祉法人 愛生館福祉会 |
| | 所在地 | 埼玉県上尾市上町 1丁目1番14号 | 安城市篠目町 4丁目2番地15 | 滋賀県大津市本堅 田6丁目31番29号 | 碧南市鷺林町 4丁目109番地1 |
| 立地 状況 等 | 建設場所 | 別郷町油石 96番地1 | 篠目町竜田153番地ほか | 安城南明治第一 土地区画整理事業 第36街区 | 福釜町下山 81番地1ほか |
| | 日常生活圏域 | 安城北中学校区 | 篠目中学校区 | 安城南中学校区 | 安城西中学校区 |
| | 施設構造 | 鉄骨造2階建て | 鉄骨造3階建て | 鉄骨造3階建て | RC造4階建て |
| | 併設施設 | なし | 看護小規模多機能型居宅介護 ショートステイ（29床） | なし | ショートステイ （20床） デイサービス （30人） |
| 開設予定 | 平成29年5月 | 平成30年3月 | 平成30年3月 | 平成30年3月 | |

あんジョイプラン7 施設整備箇所図



平成29年度 研修予定 (講師等の都合により変更する場合があります)

平成29年4月20日現在

| 日 時 | 主催する部会 | 内 容 | 講師 | 参加予定の部会 | 会場 |
|---------------------------|------------------|---|---|---|-------------------|
| 7 月 22 日 土 13:30～ | | 地域包括ケア市民フォーラム 大人の『終活』新作法 ～いつか来る別れの日のために～ | 金子 稚子(かねこ わかこ)氏 ライフ・ターミナル・ネットワーク代表 終活ジャーナリスト(2012年10月に他界した流通 ジャーナリストの金子哲雄の妻) | 一般 | 文化センター マツバホール |
| 9 月 30 日 土 PM | | 認知症市民フォーラム | 未定 | 一般 | 文化センター マツバホール |
| 月 日 7月～9月 | 薬剤師会 ケアマネット | 在宅服薬支援における多職種連携に関する研修 会 | | すべての部会 | 市民会館 視聴覚室(予約未) |
| 月 日 秋 | 医師会 ケアマネット | 在宅医療におけるサルビ一見守りネットの活用方 法 | | すべての部会 | 市民会館 大会議室(予約未) |
| 月 日 9.10月以外 講師の都合に合わせる | グループホーム | 虐待についての勉強会 | 和田 行男氏 | すべての部会 | 市民会館 大会議室(予約未) |
| 6 月 日 | 施設 | アンガーマネジメント | 調整中 | すべての部会 | |
| 7 月 1 日 土 | 医師会 | エンド・オブ・ライフケア (ロールプレイ) | 杉浦 真氏(安城更生病院在宅医療連携推 進センター長) | すべての部会 (定員30人) | 医師会館 2F会議室 |
| 8 月 日 | 訪問リハネット | リハビリテーションのゴール設定の考え方(リハビ リテーションの視点から) | | すべての部会 | |
| 9 月 日 | デイ | 地域との事業所(施設)との関係づくりについて | | すべての部会 | |
| 10 月 19 日 木 15:30～ | 歯科医師会 | 口腔ケアと嚥下での多職種連携 | 未定 | すべての部会 | 総合福祉センター 会議室3 |
| 11 月 日 | 保健福祉 | 住民による移動支援 | NPO法人全国移動サービスネットワーク | すべての部会 | |
| 12 月 日 | 保健福祉 | 精神障害者(引きこもりを含む)への支援(関係機 関との連携、具体的なアプローチ方法について) | 未定 | すべての部会 | |
| 1 月 日 | ヘルパーネット | うつ病等精神疾患の人とのかかわり方と疾患の 基礎知識 | 調整中 | すべての部会 | |
| 2 月 日 | グループホーム | 薬の副作用・薬を減らすための取組についての勉 強会 | 医師会・薬剤師会 | すべての部会 | |
| | 訪問リハネット | 事例検討会 | 急性期・回復期・生活期リハを体験したセラピストを招い て、それぞれの時期のリハビリテーションについて考え る。 | リハネット | |
| | 訪問看護 ネットワーク部会 | 事例検討会 | | 医師会 (後援事例に関する薬剤 師、ケアマネ等に個別に 参加依頼をする) | 医師会館 |
| | 歯科医師会 | 嚥下訓練と連携について | 藤田保健衛生大学病院歯科口腔外科 中川量晴氏 | 歯科医師会 | 商工会議所 |
| 12月頃 | 病院部会 | 多職種ワークショップ研修会 | | すべての部会 | 八千代病院 |

平成28年度 研修会

| 日 時 | 主催する部会 | 内 容 | 講師 | 参加予定の部会 | 会場 | 出席者 | アンケート回答(回収率) |
|----------------------|---------------|---|---|---------|-----------------|--------------|--------------|
| 6月15日(水) 19:00～ | 訪問看護 | 医療にかかわる社会保障・福祉制度について | 安城更生病院医療福祉相談課 長 前田 美都里氏 | すべての部会 | 市民会館 大会議室 | 141人 | 113人(80.1%) |
| 7月21日(木) 19:00～ | グループホーム | グループホームが求められている本来の目的、認知症支援の講話と他介護施設との連携について | 和田 行男氏 | すべての部会 | 市民会館 大会議室 | 125人 | 106人(84.8%) |
| 8月10日(水) 19:00～ | 病院 | 在宅における中心静脈栄養について | 八千代病院外科医 栗田大貴 | すべての部会 | 八千代病院 | 74人 | 67人(90.5%) |
| 9月10日(土) 13:30～ | 地域包括ケア市民フォーラム | | オレンジホームケアクリニック 紅谷 浩之氏 | 一般 | 文化センターツツパ ホール | 207人 | 125人(60.3%) |
| 9月29日(木) 18:30～ | 医師会 | エンボ・オゾ・ライケア | 杉浦 真氏(安城更生病院在宅医療連携推進センター長) | すべての部会 | 安城更生病院 講堂 | 141人 | 115人(81.6%) |
| 10月20日(木) 15:00～ | 歯科医師会 | 摂食嚥下と口腔ケア | 藤田保健衛生大学病院歯科 口腔外科 中川量晴氏 | すべての部会 | 市民会館 視聴覚室 | 89人 | 63人(70.8%) |
| 11月5日(土) 14:00～ | 認知症を知る講演会 | | 横浜総合病院臨床研究センター長 長田 勉 氏 他3名 | 一般 | 文化センター ツツパホール | 360人 | 169人(46.9%) |
| 11月12日(土) 14:00～ | 病院・医師会 | 地域包括ケアにおける病院の役割～安城更生病院と八千代病院の連携を知る～ | 岡本雅彦氏(安城市医師会) 玉井麻史氏(安城更生病院地域連携部長) 松本佳代氏(八千代病院看護部部長) | すべての部会 | 市民会館 大会議室 | 82人 | 69人(84.9%) |
| 11月25日(金) 14:00～ | 保健福祉 | 精神疾患を抱える人との関わり方 | 愛知県県精神保健福祉センター 一藤城 聡氏 | すべての部会 | 市民会館 大会議室 | 123人 | 102人(82.9%) |
| 12月15日(木) 18:30～ | 施設 | 高齢者施設従事者等による虐待防止に向けて | 塚本 鋭裕氏 | すべての部会 | 市民会館 大会議室 | 83人 | 64人(77%) |
| 1月18日(水) 14:00～ | デイ | 地域との事業所(施設)とのよい関係づくりの方法 | 安城市社会福祉協議会地域福祉係長 吉村 了子氏 | すべての部会 | 市民会館 大会議室 | 60人 | 54人(90%) |
| 2月27日(月) 18:30～ | グループホーム | 徘徊ネットワークの仕組みについて学ぶ | 高齢福祉課地域支援係職員 | すべての部会 | 市民会館 視聴覚室 | 80人 | 49人(61.3%) |
| 3月7日(火) 18:30～ | ヘルパー | コミュニケーション能力・技術 | ユビニテク医療福祉大学校 学校長 鈴木 建生氏 | すべての部会 | 文化センター 大会議室 | 62人 | 52人(83.9%) |
| ①10月29日②11月26日③1月28日 | 薬剤師会 | 薬剤師の認知症初期対応能力向上(基礎編、応用編、制度編) | 服部宏明氏(安城薬剤師会) | 薬剤師会のみ | 市民会館 視聴覚室 | ①53人②47人③45人 | |
| 12月11日(日) 13:30～ | 訪問リハネット | 多職種ワークショップ研修会 | 八千代病院総合リハビリセンター 理学療法士 紺藤 良氏 訪問看護ステーションおた作業療法士 太田 業氏 | すべての部会 | 総合福祉センター 多目的ホール | 81人 | |
| 3月12日(日) 14:00～ | ケアネットワーク | | | | | 79人 | |

安城市在宅医療介護連携推進のための研修会 運営マニュアル

1 研修会の目的

各専門職種部会メンバーのスキルアップとともに、多職種との連携や協働の推進を行うことを目的とする。

2 開催回数

各部会で年1～2回の実施とする。また、部会メンバーのみの研修会でも他の部会メンバーが参加できる研修会でも可能とする。

3 費用

講師料、会場使用料（公共施設）は市が負担する。他の部会に講師を依頼してもよい。病院、医師会、歯科医師会、薬剤師会へも依頼可能であり、研修内容に支障が無ければ、連携の意味を含めて他部会に講師を依頼することが望ましい。

【講師料の目安（交通費等込み）】

| | |
|----------------|-----------|
| 大学教授クラス（三師会含む） | ： 30,000円 |
| 准教授クラス | ： 20,000円 |
| その他 | ： 7,500円 |

4 研修会のテーマ決定

- (1) 次年度に各部会で開催したい研修会のテーマについて、年末頃を目途に部会内で検討し事務局（安城市）へ部会（案）として提出する。
- (2) 1月頃の地域ケア推進会議にて、各部会から提出された次年度研修会（案）について、全体で調整を図り決定する。

5 研修会の講師決定

- (1) 研修会のテーマに相応しい講師を選定し、研修会の開催日について連絡調整をした上で内諾を得る。講師の選定に難航する場合には、地域ケア推進会議や専門職種部会等で協議し、必要に応じて関係者の協力を仰ぐ。
- (2) 講師から内諾を得た後、研修会の日時と講師名を市の担当者へ報告する。その際に、依頼文を本人宛のみで良いか、所属長等にも必要かを確認する。所属長にも必要な場合は、所属長の氏名・役職についても確認しておく。

- (3) 研修会開催の2～3ヶ月前を目途に、市の担当者から講師宛に依頼文を送付する。

6 研修会の会場決定

- (1) 研修会のテーマ及び対象を踏まえて適切な施設を選定する。
- (2) 安城市内の公共施設であれば空き状況を確認後、安城市高齢福祉課へ施設予約を依頼する。
- (3) 高齢福祉課にて予約を行い、予約が取れた場合には依頼元の担当者へ連絡を行う。
- (4) 予約が取れなかった場合には、他施設（病院等）も検討する。

7 各部会での事前準備

(1) 講師への確認事項

- ア 報酬の了解
- イ 配布資料の有無
- ウ 当日の会場への移動方法（電車、自家用車、送迎の有無等）
- エ 当日の発表方法（パワーポイント等）
- オ 持参物品（パソコンの持ち込み等）

(2) 事務局への確認事項

- ア 配布資料の印刷依頼（次第、アンケート、配布資料）及びデータ提出
- イ 上記の講師へ確認した事項の伝達
- ウ 会場必要物品の伝達（プロジェクター、マイク等）
- エ 各部会で準備不可能な物品の準備依頼（発表用パソコン等）
- オ 研修会当日の人手が不足する場合には、事務局へ協力依頼
- ※ 印刷のためのデータ（または原本）は研修会の1週間前までに提出すること。

(3) 準備事項

- ア 当日のスケジュール決定
- イ 当日の役割決定（司会、受付、マイク係等）
- ウ 必要時、広報等の実施
- エ 看板、受付表示、案内表示等の準備
- オ 受付記入表（名簿）の準備

8 当日の流れ

(1) 会場設営

- ア 時間に余裕を持って会場に集合し、受付の設営等の準備を行う。なお、市内公共施設の場合には、高齢福祉課より利用許可書を受け取ってから会場の設営を行う。
- イ 照明、パソコンの動作確認、プロジェクターの映写状況等の確認
- ウ 看板、受付・案内表示、受付記入表（名簿）のセッティング
- エ 講師の案内・誘導の手順確認

(2) 研修会の開演

- ア 受付の実施
- イ 講師が到着したら、誘導とパソコン等の動作確認
- ウ 開演後は、司会進行に沿って実施
- エ 必要時、照明の調節
- オ 講演終了後、マイク係は質疑応答等に対応

(3) 会場片付け

- ア 講演終了後、アンケートの回収
- イ 会場の原状回復（案内表示の回収等）、ゴミや忘れ物の確認
- ウ 消灯、施錠確認後、借用物品等の返却をして終了

9 研修会後の処理

(1) アンケートの集計

研修会終了後、10日以内にアンケートを集計して市へ報告。提出されたアンケート結果を講師へ送付するため、データ等による提出が望ましい。また、アンケートを実施しない場合にも、当日の参加人数等の報告は必ず実施してください。

(2) アンケートの取り扱い

アンケート集計後、アンケート用紙の原本は各部会で廃棄処理をしてください。市高齢福祉課で記入済みアンケート用紙を回収することはありません。

(3) 礼状の送付

安城市高齢福祉課より講師宛にアンケート結果および礼状を送付します。

表1 各部会と市の役割

| | 部会 | 市 |
|----------|-----------------------------------|-------------------------------|
| 講師 | 調整・決定 | 依頼文の送付・講師代支払い |
| 会場（公共施設） | 決定・仮予約 | 予約・使用料支払い |
| 日程 | 決定・仮予約 | 他部会との調整 |
| 当日 | 運営すべて （司会進行・資料配布・看板・受付表示設置等） | 課長あいさつ・職員参加（運営上人手が足りない場合は手伝い） |
| 印刷物 | 原案作成（次第・当日配布資料・受付簿等）し、1週間前までに市へ提出 | 印刷 |
| アンケート | 原案作成し、1週間前までに市へ提出 | 印刷 |
| 周知 | チラシ等原案作成・周知 | 印刷・FAXでの周知 |
| 報告 | 研修会終了後10日以内にアンケート集計し、市への報告 | 講師へ礼状の送付 |

表2 当日準備物品チェック表

| 各主催部会の準備物品 | 事務局の準備物品 |
|--|---|
| <input type="checkbox"/> 資料（次第、配布資料、アンケート）及び原本 | <input type="checkbox"/> 印刷後の資料（事前に主催部会が受け取りに来なかった場合） |
| <input type="checkbox"/> 受付用紙、ボールペンまたは鉛筆（受付用） | <input type="checkbox"/> レーザーポインター・時計 |
| <input type="checkbox"/> 「受付」の表示 | <input type="checkbox"/> 講師用の水、紙コップ |
| <input type="checkbox"/> 「講師」の表示、必要に応じて「座長」の表示 | <input type="checkbox"/> 延長コード、ケーブル類 |
| <input type="checkbox"/> セロテープまたは養生テープ | <input type="checkbox"/> 養生テープ・鉛筆（予備） |
| <input type="checkbox"/> 講演発表用パソコン | <input type="checkbox"/> 講演発表用のパソコン（予備） |
| <input type="checkbox"/> 必要時、看板や横断幕等 | <input type="checkbox"/> 使用許可書（公共施設の場合） |

議題 (5) サルビー見守りネットの運営について

1) 市外事業者の登録について (承認事項)

① 本林薬局 (知立市谷田町)

2) 平成28年度末までの登録状況について

| 利用状況 (平成29年3月31日時点) | |
|---------------------|-------|
| 登録患者 | 63 |
| 患者記事 | 1,633 |
| 参加機関(行政含む) | 123 |
| 登録患者支援者 | 240 |

3) 近隣市の進捗状況について

| 開始予定 | |
|------|------------|
| 豊田市 | 平成29年近日中 |
| 刈谷市 | 平成29年4月 |
| 碧南市 | 平成29年10月予定 |
| 西尾市 | 稼働中 |
| 岡崎市 | 稼働中 |



ツルビ-見守りネット事務局

茨城県福岛県野崎郡野崎町

〒446-8501

茨城県野崎郡野崎町18番23号

TEL:0956-74-2277

FAX:0956-74-6789

施設登録申請

利用者管理

証明書管理

利用停止申請

コンテンツ

▶ 基本

▶ 利用申し込みの手続き

▶ 利用方法

▶ ネットワーク接続手順

▶ お問い合わせ

リンク

▶ 茨城県

▶ 野崎町

▶ 野崎町

▶ support@nyuzumi.com.co.jp

リンク

▶ 茨城県

その他

▶ 利用申し込み

▶ 証明書管理

平成 29 年度 認知症ガイドブック変更箇所

| ページ数 | 内 容 |
|-------|---|
| 表紙 | 「平成 29 年度版」を追加 |
| 表紙裏 | 作成年月、編集協力を変更 |
| 7 | 所在確認端末（GPS）の貸出についての係名変更 |
| 8、9 | 「総合事業」を追加。乳酸菌飲料宅配を削除 「見守り協力店」を追加 |
| 10 | 八千代病院愛知県認知症疾患医療センターへ変更 |
| 11 | 認知症カフェについて、「にん♪にん♪」追加。 地域支援系の連絡先変更。 |
| 12、13 | 医師会に確認中 八千代病院愛知県認知症疾患医療センターへ変更 愛知県若年性認知症総合支援センターを追加 |
| 14 | 「スッキリ☆しゃっきり健康体操」（座位）（立位）へ変更 |
| 15 | 乳酸菌飲料の宅配を削除 |
| 18 | 地域包括支援センターの名称、地域支援系の連絡先変更。 安城市認知症初期集中支援チーム追加 |

